

図書館からのお知らせ

発行日 2025.2.14

豊橋技術科学大学附属図書館

<https://lib.tut.ac.jp/oshirase/20250214.pdf>



附属図書館長からのメッセージ

2025年1月1日付で第19代附属図書館長に中内茂樹理事・副学長が就任されました。中内館長からのメッセージをご紹介します。



「豊橋技術科学大学附属図書館の未来」

「図書館法」という法律をご存知でしょうか? 「社会教育法の精神に基き、図書館の設置及び運営に関して必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。」とあります。この法律は公立図書館について規定したもので、大学図書館はこの法律の対象外なのですが、「そもそも図書館とは何をするための機関か」という基本理念を知るうえで重要です。例えば、図書館法の第17条には「公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。」と規定されており、これが「図書館無料の原則」と呼ばれるものです。公立博物館などは有料であることが多いのですが(根拠法に「但し、博物館の維持運営のためにやむを得ない事情のある場合は、必要な対価を徴収することができる。」とある)、公立図書館は依然として無料です。つまり図書館とは、教育の機会均等「すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない、人種、信条、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。」という教育基本法の理念を頑固に体現している機関である、ということがわかります。

一方、大学附属図書館についてですが、法人化前は国立学校設置法の第6条に「国立大学に、附属図書館を置く。」とあったものが、法人化によって廃止され、国立大学法人法には図書館に関する規定が無くなってしまいました。その代わりに大学設置基準の条文として図書館が言及されていて、これが大学附属図書館の設置根拠となっています。大学の自律性や特性を尊重するという観点もあるのでしょうか。大学を取り巻く環境の変化に柔軟に迅速に対応することが期待されていることもあるかも知れません。いずれにせよ、このときから大学附属図書館は「何をするための機関か」ということを常に自問自答しなければならない運命にあると言えます。

確かに世界は猛烈なスピードで変化し続けています。AIなどの情報技術の脅威的進歩、デジタルメディアの多様化、グローバル化や競争原理の導入、そして少子高齢化など、大学の存在意義そのものが問われるなか、大学附属図書館もまたその価値を再構築する動きが加速しています。しかし、価値の再構築とは、価値の再発見ではないか、と思うようになりました。つまり、デジタル化の網からこぼれ落ちてしまう手触りや匂いなどの豊かな質感、ソーシャルな場が生み出す情動など、無駄が無く「生産性の高い」社会システムのなかで、今や多くの人々が忘れてしまっている価値を再び思い出させること、これこそが図書館の現代的価値かも知れません。時代を超えた図書館の普遍的な理念に立ち返り、本学の灯台として学生・教職員の知的好奇心を刺激し、キャンパス中央に立つ大樹として穏やかな空間と時間を提供できる場であり続けたい、そう思っています。

附属図書館長 中内 茂樹

目次:

附属図書館長からのメッセージ 附属図書館長 中内茂樹	1
お知らせ	1
・卒業・修了予定者の圖書の返却について	2
・ワークステーションエリアと グローバルレクチャーエリアの改装	2
・館内施設予約 SPI試験での利用について	3
トピックス	
・オープンアクセスに関する講演会を 開催しました	3
・企画展示 貸出ランキング	4
・国立国会図書館の遠隔複写サービス	4

2025年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

2025年 3月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

通常(有人)開館時間	日付
9:00-20:00	2/3-5,7,10,12-14,17-21,25-28
1F: 9:00-20:00 2-3F 12:00-20:00	2/6
1F: 9:00-17:00 2-3F 12:00-17:00	3/6
9:00-17:00	3/3-5,7,10-14,17-19,21,24-28,31
なし (特別開館あり)	2/1-2,8-9,11,15-16,22-24 3/1-2,8-9,15-16,20,22-23,29-30

24時間開館は、皆様のご協力のもと実施されています

利用のルールを守りましょう!

- ・館内外禁煙
- ・食べ物は指定場所以外禁止
- ・荷物放置禁止 など

お知らせ News

卒業・修了予定者の図書の返却について

学部4年生、修士2年生、博士3年生の方が、2月20日(木)以降に図書を借りる場合の図書の返却期限は3月11日(火)までとなります。

従来の貸出期間20日間ではなく、期間短縮となりますので、図書を借りる場合には返却期限に十分ご注意ください。閲覧は、現在の学生証で3月31日(月)23:59(短縮開館含む)まで可能です。

なお、学内進学される方は、入学後新しい学生証が交付されるまで、図書の貸出ができなくなりますのでご了承ください。特別に希望する場合は、卒業・修了予定者の[貸出期間延長申請書](#)に指導教員のサインをいただき提出してください。

【対象者】 学部4年生、修士2年生、博士3年生

【貸出期間短縮開始日】 2025年2月20日(木)～

【返却期限】 2025年3月11日(火) 【貸出冊数】 7冊以内

ワークステーションエリアとグローバルレクチャーエリアの改装

★ワークステーションエリアについて

図書館1階のワークステーションエリアに設置されている教育用端末の利用を終了します。

2月17日以降、端末は撤去されます。各自のPCを持ち込んでご利用いただく部屋に変更になります。

部屋内にある複合機や大判プリンターの利用は、引き続きご利用いただけます。

また、机や椅子の入れ替えを予定しています。入れ替えや改装のために一時部屋の利用休止をする場合があります。大判プリンターの利用を予定している方は、早めにご利用ください。

端末撤去後、教育用端末を利用したい場合は、情報メディア基盤センターの第1端末室・第2端末室・マルチメディア教室などをご利用ください。

★グローバルレクチャーエリアについて

グローバルラウンジとして、交流の場として充実を図るため、現在ソファや一人用机が設置してある、グローバルレクチャーエリアの窓側について、改装を予定しています。

【工事予定】 3月24日(月)～3月28日(金)

期間は変更になる場合があります。

改装工事中、上の2エリア以外のマルチプラザは利用可能(特別開館も実施)ですが、工事や什器の設置や移動により騒音が発生する場合があります。ご了承ください。詳しい工事日程は、館内掲示や図書館ホームページなどでお知らせいたします。



■ 館内施設予約 SPI試験での利用について

適性検査SPI試験受験のために施設予約をする方が増えてきましたので、「グループ研究室2」の部屋のドアにロールスクリーンカーテンを設置しました。SPI試験で予約を取る場合は、「グループ研究室2」を予約してください。そのほか大型モニターなど、部屋内の物品の移動が必要な場合は、予約の際、備考欄にその旨記載をお願いします。部屋の利用後は必ず元の状態に戻してください。

【施設予約サイト】 <https://opac.lib.tut.ac.jp/FacilityReservation/>

【施設予約について詳細】 <https://lib.tut.ac.jp/guidance/room.html>



施設予約サイト

トピックス Topics

■ オープンアクセスに関する講演会を開催しました

★ 講演会アーカイブ動画・スライド資料公開(学内限定)

2025年1月30日(木)図書館1階マルチプラザにて、講演会「日本における学術論文等の即時オープンアクセスについて」を開催しました。当日は教職員ならびに博士課程の学生など、40名弱の方にご参加いただき、ありがとうございました。

アーカイブ動画および講師スライド資料を学内限定でMoodleにアップロードしました。

参加いただけなかった方、もう一度ご覧になりたい方は、ぜひご視聴ください。

【動画・資料掲載 Moodleサイト URL】

<https://lms.imc.tut.ac.jp/course/view.php?id=1034>

Moodle サイト > 事務局 > 図書館 >

講演会「日本における学術論文等の即時オープンアクセスについて」からもアクセスできます。

【講演会 目的・内容】

「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」(令和6年2月16日決定統合イノベーション戦略推進会議)において、2025(令和7)年度から新たに公募を行う競争的研究費を受給する者に対し、論文及び根拠データの学術誌への掲載後、即時に機関リポジトリ等への掲載を義務づける方針が示され、各機関においてオープンアクセスを推進する取り組みが求められています。

国立情報学研究所の林正治氏を講師にお迎えし、オープンアクセスの意義や国際的動向、方針策定の背景、方針内容に加え、国立情報学研究所における研究データ基盤(NII RDC)整備の最新状況等をお話いただき、理解を深めます。

【講師】 林 正治氏 (国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任准教授)



Moodleサイト

★ 図書館が論文等の公開を支援します！ 学術機関リポジトリ

Webフォームでの申請受付を開始しました。下記いずれかの方法で、出版社の許諾している論文の版(著者最終稿など)を送付してください。

【詳細】 図書館からのお知らせ 機関リポジトリ特集 No.4 <https://lib.tut.ac.jp/oshirase/repo4.pdf>

【申請方法】 **コンテンツ送付 登録申請フォーム(試行中)** >> <https://forms.gle/3zZAb3WMDKimxcXJA>
メール送付の場合のコンテンツ送信先 >> tosho@office.tut.ac.jp



機関リポジトリ特集No.4

企画展示 貸出ランキング

2階階段前の展示書架では、今年度よく貸し出しされた本を、一挙紹介中です。貸出中の場合はOPAC画面から予約ができます。

貸出総合ランキング

- 1位 熱・湿気・換気(エース建築工学シリーズ。エース建築環境工学:2)
- 2位 成瀬は天下を取りに行く
- 3位 離散数学:コンピュータサイエンスの基礎数学(マグロウヒル大学演習)

2025年本屋大賞ノミネート
続編「成瀬は信じた道を行く」も所蔵！
現在、階段横で展示中



分野別の貸出ランキングはこちら https://www.lib.tut.ac.jp/oshirase/ranking2024_tenji.pdf

分野別ランキング

国立国会図書館の遠隔複写サービス

国立国会図書館は、従来から実施してきた紙の複写物を郵送する「遠隔複写(郵送受取)」に加えて、PDFファイルで複写物を提供する「遠隔複写(PDFダウンロード)」のサービスを2月20日から開始します。PDFで入手できるのは、利用者本人が、個人で利用登録して複写申込した場合です。

【お知らせ詳細】 サービス概要・対象となる資料・利用できる方・複写料金ほか

https://www.ndl.go.jp/jp/news/fy2024/250206_01.html

【国立国会図書館の利用者登録(個人)について:本登録】

https://www.ndl.go.jp/jp/registration/individuals_official.html



国立国会図書館お知らせ

本学図書館を通じて、他機関から複写物取り寄せ(国会図書館所蔵資料含む)をする場合は、紙媒体の郵送になります。PDFファイルでの提供は実施していません。ご了承ください。

図書館を通じて取り寄せを希望の場合は、[マイライブラリの新規申し込み](#)>[別棟書庫内の資料の申込・文献複写依頼\(他大学等\)](#)からお申し込みください。

【本学図書館を通じた複写依頼・現物貸借について 案内】 https://lib.tut.ac.jp/irai/irai_ill.html

※過去のお知らせは、

https://lib.tut.ac.jp/oshirase/mail_oshirase.html

こちらのページからご覧いただけます



- 国立大学法人豊橋技術科学大学 学術情報課 情報図書係 内線6564
- 図書館ホームページ <https://lib.tut.ac.jp/>
- 機関リポジトリサイト <https://repo.lib.tut.ac.jp/>
- ブログサイト <https://booklog.jp/users/tutlibrary>
- お問い合わせ <https://lib.tut.ac.jp/guidance/toiwase.html>



図書館Webサイト